

松江圏域(林業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率	
松江-1	木材生産倍増プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に行った高性能林業機械導入、木材生産体制の整備、また県単主伐促進事業の効果から、森林組合を中心に管内の木材生産量は増加傾向にあり、数値目標の101%になった。 集約化に向けた境界調査、所有者への地区説明会を実施。所有者の合意を取得し森林経営計画を樹立(松江森林組合、しまね東部森林組合)。 管内2森林組合と民間事業者が伐採の連携に向けた現地調査・協議を実施。継続的な連携が課題。 島根大学の協力を得て利用間伐地で作業工程調査を実施。この調査結果をもとに検討会を実施し、生産システム改善に繋げる(しまね東部森林組合)。 路網整備による木材生産コスト縮減を図るため、加速化事業等による森林作業道を開設。(松江森林組合、しまね東部森林組合)。 低コストでの木材生産を推進するため、しまね東部森林組合と東部農林振興センターとの間で「施業集約化」、「路網整備」、「低コスト木材生産体制整備」、「人材育成」の各分野ごとにチーム体制を組み、具体的な取り組みを協議・決定。一部取り組みを開始。 	木材生産量 m3/単年	9,000	9,100	m3	101%	達成
松江-2	県産材製品の新たな需要拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 既存の安定取引協定が継続され、県産原木の流通合理化が進められている。 当地域の製材所では、(有)中村木材が県外出荷に向けた取り組みを進めているが、他の製材所にも「木材製品県外出荷しまね事業連合体」への参画を検討するなど県外出荷に向けた取り組みを進める必要がある。また、(有)中村木材の県外出荷先が1~2月の間入荷を中断した実状も踏まえ、他の出荷先も検討していく必要がある。 	県産材製品県外出荷量	240	282	m3	118%	達成
			顔の見える木材での家づくり活動グループの木造住宅着工戸数(累計)	65	52	戸	80%	概ね達成